SCIEX OS 2.1 リリースノート

はじめに

ご利用のシステムのOSとして、SCIEXをお選びいただきありがとうございます。液体クロマトグラフィー飛行時間型質量分析機能を提供するZenoTOF™ 7600、SCIEX X500R QTOF、およびSCIEX X500B QTOFシステム、ならびにSCIEX Triple Quad™ 7500 LC-MS/MS System – QTRAP® ReadyをサポートするSCIEX OS 2.1ソフトウェアをお届けします。SCIEX OS 2.1を使用すると、ユーザーは、QTRAP®ソフトウェアバージョン1.6.2以降またはTripleTOF®ソフトウェアバージョン1.7.1以降を操作するトリプル四重極Analyst®およびAnalyst® TFシステムから取得したデータを処理することもできます。

本ドキュメントでは、ソフトウェアの機能について説明しています。ソフトウェアをご利用になる際の参照用として、このリリースノートを常にお手元に保管してください。

バージョン2.1の新機能

本項では、SCIEX OS 2.1の強化と修正について説明します。過去にリリースされたSCIEX OSの強化と修正については、該当するバージョンのソフトウェアに付属する*『リリースノート』*を参照してください。

バージョン2.1での新しい機能と改善点

- SCIEX OS 2.1は、Turbo V™イオン源とOptiFlow® Turbo Vイオン源の両方を備えた新しいZenoTOF™ 7600 LC/MS-MSシステムをサポートします。
- SCIEX OSは、SCIEX X500 QTOFおよびZenoTOF™システム用に wiff ファイルとwiff2ファイルの両方を同時に生成します。
- 新しい**Polarity**列がResults Tableに追加され、ユーザーは正と負の極性間の遷移を確認できます。(BLT-1832)
- 新しいワークスペース レイアウト機能により、ユーザーはカスタマイズされたワークスペース レイアウトをAnalyticsワークスペースに保存できます。カスタマイズされたレイアウトは結果ファイルとともに保存され、ファイルを開くと自動的に適用されます。これにより、ユーザーが結果を分析する際の時間を節約できます。保存されたワークスペースのレイアウトは、他の結果ファイルにも適用できます。また、プロジェクトのデフォルトのワークスペースレイアウトとして設定することもでき、そのプロジェクトの結果ファイルが開かれるたびに適用されます。ワークスペースのレイアウトは、ローカルネットワーク上を含め、どこにでも保存できます。ユーザーは、保存されたさまざまなレイアウトを切り替えて、結果ファイルでさまざまなタイプのデータ分析を実行できます。

- 計算列の機能が強化され、より複雑な数式を作成できるようになりました。複雑なの作成をサポートするために、数式ページの設計が変更されました。**IF** ステートメント ロジックは、数値とテキスト値の両方をサポートするようになりました。
- 既定の役割のユーザー管理権限が更新されました。使用している既定の役割の権限設定を確認してください。詳細については、*ラボ管理者ガイド*を参照してください。(ONYX-8376)

バージョン**2.1**の解決済みの問題

取得における問題

- LCメソッドの内部ループ洗浄ステップはスキップされました。(BLT-930)
- バッチワークスペースに新しい行が追加されると、フォーカスはバッチグリッドの最初の表示行に移動しました。(BLT-1240)
- 取得中に障害が正しく処理されませんでした。(BLT-1389)
- イベント ログは、システム エラーのためにサンプルの取得が停止したことをランダムに報告しました。(BLT-2160)
- 一部のサンプルにおいて、LC圧力トレース情報が欠落または不正確でした（BLT-2215）。
- ADCまたはDADデータを含むバッチにサンプルを追加すると、エラーが発生しました。(BLT-2274)
- LCメソッドがMSメソッドよりも長い場合、サンプルはスキップされ、データ ファイルから欠落していました。(BLT-2327)
- バッチワークスペースで、ユーザーが行をコピーして貼り付けたときに、注入量がコピーされませんでした。新しい行には、LCメソッドからの注入量が含まれています。(BLT-2443)
- ルートディレクトリが定義されているが、パスが247文字未満の場合、「パス名が長すぎます」というメッセージが表示されました。(ONYX-4981)
- MSメソッドワークスペースで、質量表でFill Down（下方向にコピー）オプションを使用すると、ソフトウェアが応答しなくなりました。(ONYX-5668)
- **CE spread**フィールドは、ERスキャンに対してアクティブでした。(ONYX-8328)
- サーベイスキャンで*Scheduled* MRM™が使用されている場合、複数のIDA実験を使用してMS Methodに第2レベルのIDA基準が追加されると、ソフトウェアは応答を停止しました。(ONYX-8333)
- MS MethodワークスペースでIDAデータを取得しているときに、**Open data exploration to view real-time data**（ ）をクリックすると、エラーダイアログが表示されました。(ONYX-8446)
- 複数の実験を含むメソッドを印刷すると、最初の実験の**Nebulizer current**のみが印刷されました。(ONYX-8462)

- (s)MRM Plotsダイアログが開いているときは、そのダイアログは他のすべてのダイアログの前にありました。ダイアログが展開されると、ユーザーはSave（保存）ダイアログなどの他のダイアログを表示できなくなることがありました。(ONYX-8601)
- (SCIEX 7500 システム) **Exclude former candidate ions** と **Exclude isotopes +/-** の両方が選択された場合、情報依存収集 (IDA) は、基準で指定されたよりも頻繁に同じイオンの依存スキャンをトリガーする可能性があります。(ONYX-8947)
- チェックサム付きのwiffデータファイルが壊れてしまうことがありました。(ONYX-10839)

Analyticsワークスペースの問題

- メトリックプロットのエクスポート中に問題が発生しました。(BLT-1156)
- ターゲットを絞っていないワークフローで、負の極性データの場合、エントリ名のプレカーサー質量が正しく計算されませんでした。(BLT-1424)
- MultiQuant™メソッドがSCIEX OSにインポートされたときに問題が発生しました。(BLT-1435)
- **Zoom intensity axis to nn percent of largest peak**オプションを選択すると、Peak Reviewペインの最大のピークではなく、LCランの最大のピークが表示されました。(BLT-1437)
- 自動外れ値除外機能の使用方法に問題がありました。ユーザーインターフェースが改善されました。**Maximum total outliers**は、[Options for Removing Calibration（キャリブレーション ポイントを削除するためのオプション）]に置き換えられます。(BLT-1606)
- **IF**ステートメントを含む計算列でパフォーマンスの問題が発生しました。(BLT-1723)
- 手動積分後にピーク シェーディングが更新されませんでした。(BLT-1912)
- Watson LIMSイベントの監査証跡が正しく作成されませんでした。(BLT-2021)
- **RT Confidence**列は、MRMのみのデータでは表示されませんでした。(BLT-2027)
- 処理方法エディタで**Selected**リストにサンプルを追加した後、**Available**リストにサンプルが残っていました。(BLT-2034)
- MQ_Groupタグを含むレポートの作成中に問題が発生しました。(BLT-2035)
- Results Tableの日付列が正しくソートされませんでした。(BLT-2093)
- 一部のデータの手動積分中に問題が発生しました。(BLT-2100)
- SCIEX OS-Qのユーザーは、合計イオン情報をWatsonバージョン7.4.1に転送できませんでした。(BLT-2171)
- MultiQuant™SCIEX OS の定量メソッドでは、イオン累積パラメータは保持されませんでした。(BLT-2172)
- ルートディレクトリが変更された後、レポートに表示されるプロジェクトフィールドにN/Aが含まれていました。(BLT-2176)

- データ名の違いの処理方法が原因で、サンプルを既存のResults Tableに追加できませんでした。(BLT-2208)
- パーセント（%）文字を含む名前のファイルのデータを処理するときに問題が発生しました。(BLT-2238)
- SCIEX OSは、自動化されたワークフローを通じて取得されたさまざまな遷移を含むMRMデータ内の同様のコンポーネントの保持時間（RT）更新をサポートしていませんでした。(BLT-2275)
- TripleTOF® 6600システムで取得したデータを処理する際に、期間やループしたMS/MS実験が含まれていると、処理方法エディタにエラーが表示されました。(BLT-2318)
- Analyst®で取得したAgilent DADデータをSCIEX OSで処理できませんでした。(BLT-2326)
- [ピークレビュー]ペインで、一部のピークの XIC が正しくありませんでした。(BLT-2330)
- すべてのサンプルが同じグループに属している場合、積分ページで**Overlay Other Components for Group**オプションが使用できませんでした。(BLT-2408)
- レポートに表示される定量メソッドの日時が正しくありませんでした。(BLT-2421)
- [ピークレビュー]ペインで、グループを更新するオプションが選択されている場合、コンポーネントの統合パラメータへの変更がグループに一貫して適用されませんでした。(BLT-2437)
- SCIEX OSは、データを取得するwiffファイルの結果を処理しているときに応答しなくなりました。(BLT-2473)
- wiffファイルに互換性のないデータが含まれている場合に、wiffエラーが発生しました。(DS-3533)
- ユーザーがPeak Reviewペインで**Open data exploration**をクリックして、Explorerワークスペースの UVデータを含むデータファイルを開くと、XIC UVグラフは表示されませんでした。(MQ-7723)
- PDAやFLDで取得したwiffデータを処理して生成された結果が正しくありませんでした。(ONYX-7843)

Explorerワークスペースの問題

- IDA+DADデータファイルでDADの等高線図とXWCを同時に生成しようとした際に、SCIEX OSは応答を停止するか、エラーが発生しました。この問題は、DAD等高線パネルの生成を開始し、バックグラウンドで更新しているときに同時にXWCにアクセスする場合にのみ発生しました。(BLT-498)
- Explorerワークスペースのピーク表からデータをコピーできませんでした。(BLT-854)
- 加熱式ネブライザモードで、サンプル情報に表示される温度が正しくありませんでした。(BLT-1226)

- Analyst®ソフトウェアを使用したExionLC™システムで取得したデータ ファイルの場合、SCIEX OSのサンプル情報に表示される吸光度の単位は、Analyst®ソフトウェアに表示される単位と一致しません。(BLT-1390)
- サンプルのサンプル情報に拡張質量情報が表示されませんでした。(BLT-1811)
- (SCIEX 7500 システム) 極性切り替えを伴うメソッドのサンプル情報が正しく表示されませんでした。(BLT-2392)

MS Tuneワークスペース問題

- ユーザーが質量分析装置のチューニングを行い、新しい装置設定を保存した後、以前に保存した装置設定を復元した場合、監査記録は不完全なものとなりました。(ONYX-8392)

その他の問題

- サーバーが15分以上接続されていないと、ChemSpiderのライセンスが正しく動作しないという問題がありました。(BLT-962)
- SCIEX OSは、ノードロックライセンスの代わりにサーバーベースのライセンスを使用する場合がありました。(BLT-964)
- ライセンスの有効期限が切れた日にSCIEX OSを開くことができませんでした。エラーメッセージは表示されませんでした。(BLT-986)
- 必要なライセンスがインストールされていない場合、監査証跡ワークスペースや構成ワークスペースの監査マップページなどの監査証跡機能が使用できました。（BLT-1013/1951）
- .NETが有効になっていない場合、SCIEX OSがアンインストールされることがありました。(BLT-1024)
- C:以外のドライブにOSソフトウェアをインストールした場合、SCIEX OSをインストールできませんでした。(BLT-1466)
- 式の検索結果は、ExplorerワークスペースとAnalyticsワークスペースでは異なっていました。この問題を解決するために、MS1アイソトープのしきい値が 1% (固定) からユーザーが調整可能な%ディフアイソトープ比の緑のしきい値（デフォルトは5%）に変更されました。(BLT-2141)
- SQLサーバーのインストール中に問題が発生しました。これらの問題の処理が改善されました。(BLT-2167)
- 管理者の役割を役割グループに割り当てることができませんでした。(BLT-2223)
- ユーザーがルートディレクトリへのアクセス権を持っていない場合は、ソフトウェアがルートディレクトリを作成します。(BLT-2225)
- [ユーザー管理]ページの[役割]タブで **Set Manual Integration Percentage Rule**権限を使用できませんでした。(BLT-2228)

- (SCIEX 7500システム) サービスパッケージにリードバックファイルが含まれていませんでした。(BLT-2492)

使用上の注意と既知の問題

使用上の注意

- Windows Updateを行う際、ユーザーは必要なアップデートのみをインストールする必要があります。アップデートは、システムがデータを取得していないときにスケジュールしてください。ソフトウェアの機能に影響を与える可能性があるため、ユーザーはオプションの更新プログラムをインストールしないでください。

  注： SCIEX OSはWindows 10 HotFix 2をサポートしていません。(BLT-2320)

- デフォルトプロジェクトの読み取り権限を持っていない場合、SCIEX OSを開こうとするとエラーが発生する可能性があります。(ONYX-3131)
- 多数のワークスペースが開いている場合や、多数の移行が処理されている場合は、システム動作が遅くなる場合があります。(ONYX-2321)
- SCIEX OSの前バージョンで作成されたバッチを開く場合、**Injection Volume**フィールドは自動入力されません。バッチ内の各**LC Method**フィールドをクリックしてください。(ONYX-2967)
- バッチが開始されると、SCIEX OSはWindows Updates、Windows Defenderウィルススキャン（Windows 10）およびSymantec Endpointウィルススキャン（Windows 7）のインストールを停止します。データを収集しない時に更新やウィルスのスキャニングを実施するように、スケジュールを設定してください。
- パフォーマンスの問題やデータの破損を防止するため、サンプル取得中にはデフラグやディスククリーンアップなど、コンピュータのメンテナンス手順を実行しないでください。
- ネットワーク取得中にClearCore2が中断されると、中断時に取得中のサンプルの一部のサンプルデータは、データファイルに書き込まれません。ローカル取得中にサービスが中断された場合、サンプルデータの一部がデータファイルに書き込まれますが、破損としてマークされます。ClearCore2サービスが中断された場合、自動トリガー処理と決定ルール処理も失敗します。

- 次の方法により、ユーザーはネットワークリソースを取得しながら、Explorerワークスペースでデータをリアルタイムで表示できます。
  - SCIEX OSウィンドウ下部のData Acquisitionパネルを開きます。
  - Queueワークスペースで、取得中のサンプルをダブルクリックして開きます。

  (DS-1873)

  注： サンプルがExplorerワークスペースで開いたままの場合は、サンプルがネットワークリソースに移動した後に、「File not found」というメッセージが表示されます。

- データファイルはSCIEX OS2.1で作成され、SCIEX OSバージョン1.3.1以前で取得されたデータファイルに追加することはできません。(DS-1931)
- Batchワークスペースでサンプルの新しい結果ファイルを指定する場合、ユーザーは処理方法も指定する必要があります。処理メソッドが指定されていない場合、Queueワークスペースの**Processing Method**列には***Embedded Method***が含まれ、自動処理は失敗します。(ONYX-4864)
- Analystデータパスで結果ファイルを指定する場合、サブフォルダを作成できません。既存のフォルダを選択する必要があります。(ONYX-4962)
- ユーザーがExplorerワークスペースにアクセスする権限を持っていない場合、ユーザーはQueueワークスペースからキャリブレーションレポートを開くことができません。(ONYX-3401)
- MultiQuant™ソフトウェアファイル（qmethod、qsession、およびcset）は、SCIEX OSのSCIEX OSワークスペースで開けることも使用することもできません。ただし、テキストファイルにエクスポートされたMultiQuant™ ソフトウェアメソッドは、Analyticsワークスペースにインポートできます。
- ソフトウェアは、コンポーネントのイオン比を計算するのに、選択された回帰パラメータ（面積または高さ）を使用しません。ソフトウェアは、Results Tableの最初のコンポーネントに対して定義された回帰パラメータを使用して、Results Tableのすべてのコンポーネントのイオン比を計算します。(MQ-5546)
- ターゲットを絞らないワークフローの場合、Results Tablesは150,000行に制限する必要があります。Results Tablesがこのサイズを超えると、SCIEX OSのパフォーマンスが大幅に低下します。
- AutoPeak統合アルゴリズムを使用する場合、ユーザーは特定のResults Table内のコンポーネントのコンテキストで計算されたすべてのパラメータを考慮する必要があります。ソフトウェアは各コンポーネントのAutoPeakモデルを作成し、このモデルはコンポーネントのすべてのサンプルに使用されます。AutoPeak Asymmetryの計算パラメータは、コンポーネントのAutoPeakモデルのスキューに対する特定のスキューの比率を示します。(BLT-2030)

- 現在の監査マップテンプレートがワークステーションに適用されていても、**Apply to Workstation**ボタンがオンになりません。どの監査マップテンプレートが現在ワークステーションに適用されているかを判断するには、Audit Trailワークスペースを開きます。(ONYX-3400)

一般的な問題

問題	注
ガイド付きMRMを使用して、MS Tuneワークスペース、チューニング中、またはMS Methodワークスペースで作成されたレポート（xps）ファイルを開くことはできません。Windowsは、このタイプのファイルを開くことができないと報告しています。	この問題は、Microsoft XPSビューアがコンピュータにインストールされていない場合に発生します。ビューアはSCIEX OSインストール パッケージに含まれています。インストールするには、次の手順に従います。 1. 管理者としてコマンドプロンプトを実行します。 a. Windowsタスクバーの**Type here to search**フィールドに**cmd**と入力します。 b. **Command Prompt**を右クリックし、**Run as administrator**をクリックします。 2. [管理者：コマンドプロンプト]ウィンドウで、次のコマンドを入力し、**Enter**を押します。 **dism /online /norestart /add-package /packagepath:"C:\Program Files\SCIEX\SCIEX OS\Microsoft-Windows-Xps-Xps-Viewer-Opt-Package~31bf3856ad364e35~amd64~~.cab"** 注： コマンド全体を1行で入力します。 XPSビューアがインストールされると、進捗バーバーが表示されます。 3. インストールが完了したら、コマンドプロンプトウィンドウを閉じます。
英語以外の言語に設定されたコンピュータにSCIEX OSをインストールすると、最初にSCIEX OSを開く時にエラーが表示される。(BLT-892)	再度SCIEX OSを開きます。

問題	注
ヘルプのコンテンツペインが空白になっています。(BLT-2497)	ヘルプ ファイルがブロックされています。この問題を解決するには、次の手順に従います。 1. ヘルプ ファイルを参照して右クリックし、**Properties**をクリックします。 2. [プロパティ]ダイアログで、**Unblock**を選択します。 3. **OK**をクリックします。 注：[プロパティ]ダイアログにこのチェックボックスがない場合は、ヘルプファイルがブロックされません。
(SCIEX7500 システム) ファイル パスが長いデータは、Analyst® ソフトウェアで処理できません。また、このようなデータファイルのファイル情報では、一部の項目が表示されません。(ONYX-9408)	この問題を回避するには、ファイル パスを短くしてください。
Explorerワークスペースおよび Analytics ワークスペースのPeak Reviewペインで wiffデータの再処理中にエラーが発生します。(ONYX-9450)	wiff データは再処理できません。

機器に関する問題

問題	注
（ExionLC™システム、Shimadzu LC）カラムが設定温度に達する前に注入を開始します。	カラムオーブンの**WAIT TIME**が手動で0に設定されている場合は、システムを平衡化し、カラムオーブンが設定温度に達してから10～15分待ってからサンプルを提出するようにしてください。または、**WAIT TIME**を1から10までの任意の整数に等しい値に設定してから、LCメソッドで**Wait for temperature equilibration before run**を選択します。このオプションを選択すると、カラムオーブンが設定温度に達した後、ソフトウェアは **WAIT TIME**で指定された時間待機してから注入を開始します。
（Agilent LC）オートサンプラーではハイスループット設定はサポートされていません。(ACQ-529)	ハイスループット設定は現在サポートされていません。
（Shimadzu LC）デバイスが回復しているときに誤ったデバイスステータスが表示される。(ACQ-1410)	サンプルの提出前に従属機器をオフにした場合、LCシステムの状態はFaultにならなければいけないものの、実際にはスタンバイ状態になります。ユーザーがバッチをキューに再度送信しようとすると、最初のサンプルは送信されますが、LCシステムがFault状態になるため送信はただちに失敗し、測定も失敗します。この問題が発生した場合は、コンピュータを再起動して、ソフトウェアを再度開きます。
（Shimadzu LC）Direct Controlを通じてエラーを回復しても、機器の信号灯がFault状態から更新されません。(ACQ-1420)	LCがFault状態にあるときにDirect Control用機器を開いて**Clear Error**をクリックすると、機器は回復しますが、ソフトウェアの状態はまだ障害と表示されます。このエラーをクリアするには、状態パネルの**Standby**をクリックします。
（Agilent LC）電源をオンにして接続した機器が、有効な機器のリストにある機器と一致しない場合、LCメソッドが正しく実行されません。（ACQ-1716/2062）	システムを正しく機能させるには、機器の電源をオフまたはオンにして、有効な機器リストの内容と一致させます。
（Shimadzu LC）Shimadzu PDAを使用した長いバッチ（サンプリングレート12.5 Hz以上）の実行中に、パフォーマンスの問題が発生します。(ACQ-2037)	バッチの予測される長さが、予測よりも長い可能性があります。問題の発生を回避するには、12.5 Hz未満のサンプリングレートを使用してください。

問題	注
（Shimadzu LC）2つのUVチャンネルを使用する取得の実行中、反転したUVデータが取得されます。(ACQ-2042)	これは、LCメソッドのUV検出器セクションで極性が負に設定されている場合に発生します。問題の発生を回避するには、極性フィールドで正の設定を選択してください。
いくつかのサンプルを処理した後、圧力グラフは、元の圧力に戻る前に、圧力が一時的にゼロに低下することを示しています。(ACQ-2043)	圧力降下は、注入ループが流路に切り替えられたときに発生します。圧力は5秒ごとにサンプリングされるため、注入ループが切り替わるたびに圧力降下が表示されない場合があります。この問題による性能への影響はありません。
（Agilent LC）平衡化中にユーザーがサンプルを中止すると、Agilent LC がFault状態になる可能性があります。(ACQ-2142)	この問題が発生した場合は、**Standby**をクリックして機器を回復してください。
（Agilent LC）従属機器が障害から復旧しReady状態になった後も、Agilent LCでFault状態が表示されます。(ACQ-2144)	この問題が発生した場合は、**Standby**をクリックしてLCをReady状態に戻してください。
LCメソッドで、LCポンプまたはカラムのオーブン温度表のグラジエントテーブルの時間がMS Methodの時間よりも長い場合、MS Methodの時間が終了するとLC機器の実行が停止します。（ACQ-2167/2088）	この問題を回避するには、LCメソッド時間の**Stop Time**フィールドの値が、LCメソッドを実行しなければならない最長時間になっていることを確認してください。
（ExionLC™ AC/ExionLC™ AD Systems およびShimadzu LC）PDA のデフォルトパラメータは、LC メソッドへのアクセス方法によって異なります。(ACQ-2176)	問題の発生を回避するには、PDA機器に正しいパラメータが使用されていることを確認してください。
（Agilent LC）LCグラジエントグリッドの流量をコピーすると、小数点記号としてのコンマが無視されます。(ACQ-2191)	これはAgilent LCの問題です。この問題を回避するには、手動で流量を入力し、コンマを小数点記号として使用してください。
（Agilent LC）機器が有効化の最中にFault状態になっても、そのFault状態が正しく反映されません。(ACQ-2195)	この問題を回避するには、機器の障害をクリアし、Agilent機器を一度無効化してから再度有効化します。
いくつかのケースで、機器が手動で追加できない。(ACQ-3014)	いくつかのケースで、機器が手動で追加される際に、**Test device**機能が動作しません。この問題を回避するには、**Autoconfig**を使用して機器を追加します。

問題	注
ユーザーは、サポートされていない機器とオプションを構成できる。(BLT-1740)	SCIEX 7500システムは、較正可能なデリバリー システムとコンタクトクロージャーオプションをサポートしていません。
（Shimadzu LC-40）スタンバイ状態になった後、またはシステムが停止した後、最後の平衡化手順またはLCメソッドで設定された温度に戻ります。(BLT-2300)	該当なし
CDSなどの機器に障害が発生しても、右状態パネルの**Standby**ボタンがアクティブにならないため、ユーザーがエラーをクリアできなくなる。(MSCS-1314)	この問題が発生した場合は、Direct Controlで**Start**をクリックして、CDSの状態をFaultからRunningに変更し、CDSのFault状態をオフにします。
質量分析装置が有効化に失敗した場合、またはFault状態のときに有効化された場合、質量分析装置の質量モードは表示されません。(MSCS-2065)	質量分析装置がReadyまたはIdleの状態になったら、再度デバイスを起動します。
SCIEX OS 2.0からSCIEX OS 1.7にダウングレードした後、ユーザーは装置ワークスペースでX500 QTOFシステムを構成できない。(MSCS-2286)	SCIEX OS 1.7をインストールした後、ClearCore2サービスを停止し、SCIEX OS 2.0インストールパッケージのInstallフォルダからC ++再配布可能(vc_redis*.exeファイルをインストールします。
LCシステムのDevice Detailsダイアログに情報がない。(ON-2069)	この問題は、Windowsのリージョン設定が**English (United States)**以外の形式に設定されている場合に発生します。このエラーを回避するには、*『Software Installation Guide』*の指示に従ってWindowsを構成します。

問題	注
（Agilent LC）サンプルバイアルが欠損している場合、システムは欠損しているバイアルを認識できず、空気を注入します。(ONYX-4849)	この問題は、次のオプションのいずれか、両方が選択されている場合にサンプルバイアルが欠損している場合に発生します。 • **If a sample is missing, then proceed to the next sample**Queue Settingsページ。 • **Ignore missing vessel**Direct Controlダイアログ。 これらのオプションのどちらも選択されていない場合、システムはFault状態になり、サンプルは失敗します。 このエラーを回避するには、これらの両方のオプションをクリアしてから、すべてのバイアルが存在することを確認します。
（Agilent LC）Agilent G7121B 1260 Infinity II FLDスペクトルモジュールからのリアルタイムDADデータは、spectrumモードがApexまたはAll in Peakに設定されている場合は記録されません。(ONYX-4998)	ApexおよびAll in Peakスペクトルモードはサポートされていません。別のモードを使用してください。
（Agilent LC）信号A励起がゼロオーダーに設定され、光電子増倍管（PMT）ゲインが6より大きい値に設定されている場合、Agilent G7121B 1260 Infinity II FLDスペクトルモジュールが使用されているとき、システムは読み込み中または平衡状態のままです。(ONYX-4999)	信号A励起がゼロオーダーに設定されている場合、PMTゲインを6以下に設定します。
ユーザーがLC Methodワークスペースで**F1**を押すと、SCIEX OSヘルプシステムとLCシステムのヘルプの両方が開く。(ONYX-7149)	該当なし

問題	注
リモートデスクトップアプリケーションを使用して測定用コンピュータにアクセスすると、次の問題が発生する可能性があります。 • LC Methodワークスペースでは、一部のパラメータが表示されません。 • LCシステムの詳細ステータスダイアログで、一部のLCパラメータが表示されない。 (ONYX-7153/ONYX-8048/ONYX-8185)	この問題は、ユーザーが測定用コンピュータからログオフせずにリモートデスクトップセッションを切断して再接続した場合に発生します。この問題を回避するには、次のいずれかの方法を使用します。 • 測定用コンピュータからログオフしてから、再度ログオンします。 • リモートデスクトップアプリケーションでフルスクリーンモードを使用します。 • 測定用コンピュータの分解能を修正します。 • 測定用コンピュータで詳細なステータスを直接表示します。
（Shimadzu LC-40）デバイスコントロールダイアログの**Purge**、**Rinse**、および**Cooler**ボタンがアクティブではありません。(ONYX-7702)	Autosamplerのキーパッドコントロールを使用するか、これらの機能をLCメソッドに含めます。
（Shimadzu LC）Nexera Mikros LCポンプは、最大圧力限界に達してもFault状態になりません。(ONYX-7794)	該当なし
ダイバーターバルブの詳細ステータスダイアログで、システムが平衡状態および負荷状態にあるときに**Time**値が正しくない。(ONYX-7831)	次のサンプルの実行が開始されるのを待ってから、詳細ステータスダイアログをもう一度開いて**Time**を表示します。
（Shimadzu LC）Shimadzu Nexera Mikros LCポンプは、デバイス構成でLC-20ABポンプとして誤って識別されます。(ONYX-8030)	LCシステムのパフォーマンスは影響を受けませんが、ポンプはデータファイル、ログ、および監査証跡で誤って識別されます。
Agilent DADがShimadzu LCスタックに接続されている場合、DADトレースとMSトレースの間に0.2分の遅延がある。(ONYX-8120)	この構成で取得したデータをExplorerワークスペースで処理する場合は、**Process > Offset Chromatogram**コマンドを使用して合計オフセットを0.2分に設定します。

問題	注
デバイス構成にチャンネルモードでデータを取得するように構成された検出器が含まれ、取得したデータに重複する波長が含まれている場合、Data Acquisition パネルと Explorerワークスペースに表示される波長データは正しくない。(ONYX-8382)	Analyticsワークスペースにデータが正しく表示されます。
（Shimadzu LC-40）プレートレイアウトダイアログで、ユーザーが複数のプレートでラックタイプを構成している場合、プレートの構成を終了して次のプレートを選択すると、構成されたプレートの名前が**<Unassigned>**に変わります。(ONYX-8441)	バッチを保存して再度開き、プレートレイアウトダイアログにプレート名を正しく表示します。
SCIEX OSは、チューニング中に外部シリンジポンプを自動的に開始および停止しない。(ONYX-8459)	調整手順を開始する前に、シリンジポンプを手動で開始します。
（Waters LC）Explorerワークスペースに表示されるサンプル情報にLCデバイスのプロパティとメソッド情報がありません。	該当なし
[詳細ステータス]ペインのOptiFlow® Turbo Vイオン源の名前が正しくありません。(ONYX-10450)	該当なし

取得における問題

問題	注
BatchおよびQueueワークスペースで、PDFactoryオプションを使用するプリントアウトには以下の問題がある。 • PDFactoryで生成されたレポートに、メソッド名、サンプル名、サンプルID、バーコードなどを示す数値が含まれていない（その名前が番号である場合）。(ONYX-2236) • XPSとPDFactoryを横向きモードで使用したレポートの印刷は予測どおりに機能しますが、PDFactoryを縦向きモードで使用すると、最初のページの最後の2列が省略され、バッチが印刷される時間が切り捨てられる。(ACQ-1275)	問題を回避するには、PDFactoryオプションではなく、XPSオプションを使用して印刷します。
バッチワークスペースでは、メソッドが別のプロジェクトからコピーされた場合、利用可能な MS および LC メソッドのリストが不完全になる。(ACQ-2127)	この問題が発生した場合は、ソフトウェアを再起動します。
Data Fileがセルの中央にあり、ユーザーが**Shift** + **Tab**を押して次のセルに移動すると、エラーが表示され、バッチを送信できない。(ACQ-2135)	この問題を回避するには、**Tab**キーを使用してセル間を移動しないでください。セルの内容をすべて削除してから、再度**Data File**を入力します。
（X500 QTOFシステム）イオン源パラメータが質量分析装置に更新されない。(ACQ-2177)	SWATH®およびMRM HRメソッドを使用した手動での取得中は、フェイスでイオン源ガスおよび温度パラメータを編集できます。ただし、ユーザーが行った変更は質量分析装置に更新されず、変更はそのサンプルのサンプル情報に記録されません。
Standbyを選択すると、Harvardシリンジポンプが Fault状態になります。(ACQ-2193)	この問題を回避し、エラーをクリアするには、Direct Control機能を使用してシリンジを起動します。
Shimadzu LCの使用時、AutosamplerのTime プログラムテーブルに注入イベントがあると、システムが注入を実行できない。(ACQ-2242)	この問題を回避するには、AutosamplerのTime プログラムテーブルに注入イベントを追加しないでください。

問題	注
時折、質量分析装置がFault状態になり、システムを復旧できなくなることがあります。(ACQ-2250)	この問題が発生した場合は、機器を一度無効化してから再度有効化して、**Standby**をクリックします。
UIに表示された列の一部が印刷されない。(ACQ-2611)	以下を実行すると、UIに表示された列の一部がメソッドのプリントアウトに表示されません。 1. MRM HRメソッドを作成する。 2. スキャンスケジュールを適用する。 3. 拡張パラメータを選択して表示する。 4. メソッドを保存してから印刷する。 この問題を回避するには、Letter サイズより大きい用紙サイズを選択します。
負極性でのMRM HR生成中にソフトウェアがCEパラメータを上げた場合、リアルタイムのData Acquisitionパネルにはスペクトルデータが表示されず、X軸スケールが正モードで表示されない。(ACQ-2727)	この問題を回避するために、MRM HRジェネレータを使ってパラメータランプの結果を確認してください。Data Acquisitionパネルは使用しないでください。
（X500 QTOFシステム）手動チューニングでは、キャリブレーションサンプルなし（つまり、CDSまたはLC自動キャリブレーションなし）でバッチを送信すると、手動のMS Method取得によるイオンが最初のサンプルとバッチ内にある後続のすべてのサンプルのサンプル間DBC参照リストとして使用される。手動取得に使用したMS Methodとバッチで送信したMS Methodの間で質量範囲、極性などに不一致がある場合は、バッチ内にあるすべてのサンプルの質量精度ドリフトにより、サンプル間キャリブレーションが失敗する。(ACQ-2834)	次のいずれの方法でも問題を回避できます。 • MS Methodワークスペースで手動取得を完了してから、キャリブレーションサンプルなしでバッチを送信すると、サンプル間キャリブレーションは予測どおり機能します。バッチ内の最初のサンプルは、後続のサンプルをキャリブレーションする参照リストを生成するために使用されます。 • 手動取得中にキャリブレーションサンプルを使用してバッチを送信すると、サンプル間キャリブレーションは質量精度ドリフトが観察されずに予測どおり機能します。
（X500 QTOFシステム）500を超えるコンポーネントを用いてバッチを作成できる。(ACQ-3073)	SCIEX OSは、最大500のコンポーネントをサポートします。500を超えるコンポーネントをバッチに追加しても、エラーは報告されません。しかし、バッチを閉じてから開いた際にエラーメッセージが表示されます。

問題	注
ユーザーがMS Methodを開くと、**Print**ボタンは使用できない。(ACQ-3301)	Iメソッドを閉じてから再度開きます。
測定メソッドおよび処理メソッドからのインポート中に一貫性のない動作が発生し、そのために信頼性の低い評価結果が生成される。(BLT-284)	測定メソッドからインポートされる情報は、小数第2位までの質量精度で示されます。処理メソッドの質量精度の計算に使用される式では、小数第4位までの結果が生成されます。そのため、この2つのメソッドからは一貫性のない結果が提示されることがあります。
（X500 QTOFシステム）MRM HRメソッドで、MS Methodワークスペースでメソッド期間が変更されると、保持時間を検証できない。(BLT-961)	メソッドを保存してから閉じ、再び開きます。
スペクトルモード内でのDADでのデータ取得時にバッチ実行が失敗した。(BLT-978)	バッチの安定性を高めるために、SignalモードでDADを使用します。
DADパネルのリアルタイム更新が、メソッドで選択された応答時間よりも遅いことがある。（DS-853）	この問題を回避するには、DAD取得の頻度を下げるか、取得の完了後にデータを点検します。
リアルタイムのUVデータ収集中に、XWCグラフとTWCグラフの間でピークのラベル表示が一致しない。(DS-1262)	問題を回避するには、Explorerワークスペースを使用して取得後のデータを検査します。
（Agilent LC）SCIEX OS 1.2以前で作成されたバッチを開くと、**Rack code**、**Rack position**、**Plate code**などのLC情報が失われる。(DS-2186)	このソフトウェアバージョンでは、これらのフィールドの定義は変更されています。再度入力してください。
(X500 QTOF システム) ソフトウェアが応答しなくなった後も、CDSは洗浄モードのままになる。(MSCS-666)	この問題が発生した場合は、Direct Control ダイアログでWash Mode オプションをオフにします。
ユーザーメッセージにイオン源ガス2の設定が含まれている。(MSCS-943)	APCIプローブの使用時には、イオン源ガス2の設定が特定の値でなければならないというユーザーメッセージが表示されます。ユーザーメッセージに含まれるイオン源ガス2の設定は無視してください。
プローブを切り替えると不正確なメッセージが表示される。(MSCS-972)	このエラーは、取得に影響は与えません。メッセージをキャンセルすれば、取得は続行されます。

問題	注
（X500 QTOFシステム）MRM HRおよびSWATH®メソッドまたはMRM HRおよびIDAメソッドを使用してデータを取得しているときに、TOF MS実験が削除されると、取得が中止される。(MSCS-1059)	この問題を回避するには、TOF MS ExperimentをMRM HRメソッドから削除しないでください。
sMRMトリガーを使用して*Scheduled* MRM™アルゴリズムを使用するサーベイスキャンを使用するIDAメソッドでは、**Inclusion list**は使用されない。(MSCS-2270)	sMRMトリガーで*Scheduled* MRM™アルゴリズムを使用するIDAサーベイスキャンで包含リストを使用しないでください。
MRMサーベイスキャンを使用したIDA実験が、sMRMトリガーが適用された*Scheduled* MRM™アルゴリズムを使用する別の実験とループする場合、IDA基準の**Intensity threshold exceeds**フィールドで指定されたトリガーしきい値は、MRMサーベイスキャンの候補質量に適用されない。(MSCS-2283)	• ループされた*Scheduled* MRM™アルゴリズムの実験でsMRMトリガーをオフにします。IDA強度しきい値は、MRMサーベイスキャンの候補質量に適用されます。 • MRM サーベイスキャンを変更して、代わりに*Scheduled* MRM™を使用するようにし、目的の化合物の保持時間を 0 に設定します。IDA強度しきい値は、サーベイスキャンの候補質量に適用されます。
EADフラグメンテーションモードでは、データは取得されません。(MSCS-2527)	EADフラグメンテーションを使用する場合は、蓄積時間が反応時間の3倍以上である必要があります。使用しない場合は、データが取得できません。この問題を解決するには、蓄積時間を増やします。
負の質量不一致は、Mass Defect IDA基準では正しくない符号で表示されます。(MSCS-2537)	アルゴリズムは正しいプレカーサーを選択するため、取得されたデータは正しいです。
NANOプローブを備えたOptiFlow® Turbo Vイオン源がインストールされており、接点閉が有効になっている場合、自動キャリブレーションは使用できません。(MSCS-2543)	この問題は、Turbo V™イオン源からOptiFlow® Turbo Vイオン源に変更した場合に発生する可能性があります。デバイスを無効にしてから、再度有効にしてください。
（X500 QTOFシステム）キャリブラントを流す際、MS Methodワークスペースが更新されず、正しい情報が表示されない。(ONYX-1556)	ユーザーフェイスは更新されませんが、パラメータは正しいものが使用され、ファイル情報にも反映されています。

問題	注
IDA測定時に潜在的延長時間がランダムサイクルに追加される。(ONYX-1764)	問題を回避するには、IDAを実行する前に、Google更新サービス（gupdateとgupdatem）（システムにある場合）および、Windowsバックアップが無効になっていることを確認します。
MS MethodとLC Methodのワークスペースで、Printダイアログが開かない、または開くのが遅い。(ONYX-3412)	Print（印刷）ダイアログが開くまで約1分待ちます。
バッチ内の**Results File**に指定されたファイルパスが長すぎる場合、自動処理が失敗する。(ONYX-4827)	バッチでは、**Results File**パスの長さを300文字以下に制限します。
MS Methodの質量表にcsvファイルをインポートする場合、インポートファイルの列数が質量表の列数よりも多い場合、エラーメッセージは表示されない。(ONYX-5216)	この問題は、テキストエディタを使用してコンマ（、）で区切られた列をcsvファイルの行に追加し、コンマと列のテキストが他の行に追加されない場合に発生します。 1. 質量表をcsvファイルにエクスポートします。 2. エクスポートしたファイルをMicrosoft Excelで開きます。 3. 質量表を編集します。 4. 更新されたcsvファイルを保存します。 5. ファイルを再度インポートします。
MS Method ワークスペースで、ユーザーがMS Methodの質量表を編集しているときに、**Delete**キーが機能しない(ONYX-5467/ONYX-7384)	質量表のコンテンツを削除するには、次のいずれかの方法を使用します。 • テキストを削除するには、**Backspace**キーを使用します。 • セルをダブルクリックして編集モードに入り、**Delete**キーを使用します。 次に、必要に応じて新しいテキストを入力します。
Excelスプレッドシートなどのファイルから行をコピーしてから、Batchワークスペースのグリッドに貼り付けると、一部のコンポーネントがグリッドに追加されない。(ONYX-6068)	不足しているコンポーネントを手動でバッチに追加します。

問題	注
Batchワークスペースの既存の行に行を貼り付けると、コンテンツが正しく貼り付けられない。(ONYX-6083)	この問題を回避するには、既存の行の上に貼り付けるのではなく、空の行を挿入してその中に新しい内容を貼り付けます。次に、既存の行を削除します。
Acquisition Methodsフォルダに破損したMS Methodが含まれている場合、Batchワークスペースの**MS Method**列で選択できるMS Methodがない。(ONYX-6795)	MS Methodのリストが空の場合は、破損したメソッドを見つけて削除します。
Queueワークスペースでは、決定ルール処理の結果として再注入されたサンプルは、元のサンプルに関連付けられた処理方法の名前ではなく、**Processing Method**列に ***Embedded Method**** と表示される。(ONYX-6896)	最初のサンプルが処理されると、結果ファイルが作成され、**Processing Method**列で指定された処理方法が新しい結果ファイルに埋め込まれます。したがって、再注入されたサンプルに指定された埋め込み方法は、最初のサンプルに指定された処理方法と同じです。
ユーザーが質量表の行を選択してから**Fill Down**コマンドを使用すると、エラーが発生します。(ONYX-7225/ONYX-7461)	コピーするセルの列を選択し、**Fill Down**コマンドを使用します。行を選択しないでください
IDAデータの取得中に測定用コンピュータがWindowsリモートデスクトップで制御されている場合、取得パフォーマンスが低下し、データポイントが失われる可能性がある。(ONYX-7491)	IDAデータの取得中は、リモートデスクトップを使用して測定用コンピュータを制御しないでください。
LITメソッドの極性を変更すると、**Dynamic fill time**がオンになります。(ONYX-7740)	**Dynamic fill time**をオフにします。
現在開いているPDFファイルにメソッドを印刷しようとすると、エラーが発生します。(ONYX-7813)	メソッドを印刷する前に PDF ファイルを閉じるか、別のファイル名で保存してください。
Scheduled MRM™を使用する実験を含むメソッドで、ユーザーが極性を複数回変更すると、滞留時間が正しく更新されない。(ONYX-7841)	*Scheduled* MRM™アルゴリズムを使用する実験で計算された遷移の滞留時間は、正しい滞留時間から数ミリ秒異なります。

問題	注
負極性のMS^{3}実験では、AF2のデフォルト値は設定できない。(ONYX-8041)	負極性でMS^{3}実験のAF2にデフォルト値を設定した場合、デフォルト値は保存されません。 AF2のデフォルト値を負極性で保存するには、最初に、負極性に必要なAF2値で正極性を構成します。その後、負極性に変更し、デフォルト値を保存します。
AF2ランピングの**Start at**フィールドと**Stop at**フィールドに10進値を指定することはできない。(ONYX-8318)	必要な停止値に達したら、手動でランプを停止します。
決定ルール設定ダイアログで、処理方法が選択されている場合、**Flagging Rules**フィールドのリストには、処理方法で定義されているが適用されていない複合フラグ設定ルールが含まれている場合があります。つまり、**Apply Rule**チェックボックスは選択されていない。(ONYX-8352)	処理方法に適用されていない複合フラグ設定ルールを選択した場合、決定ルールの処理はキューで実行されません。
Scheduled MRM™アルゴリズムを使用するMS Methodは、無効なメソッド期間で保存できる。(ONXY-8443)	スキャン時間が長すぎると、*Scheduled* MRM™アルゴリズムを使用するMS Methodの**Duration**が無効になる場合があります。メソッドを保存しようとすると、エラーメッセージが表示され、**Duration**フィールドにエラーアイコンが含まれます。有効なメソッドの期間を指定し、期間を不正なメソッドの期間に戻してからメソッドを保存すると、メソッドは正常に保存されます。 メソッドを保存する前に、正しいメソッド期間を決定してください。
SCIEX OSによって作成されたwiffファイルには、Analyst®ソフトウェアによって作成されたwiffファイルよりも詳細なMS Method情報が含まれていない。(ONYX-8546)	該当なし
（X500 QTOFシステム）*Scheduled* MRM^{HR}メソッドが印刷される場合、レポートには質量表のすべての列が含まれているわけではない。(ONYX-8563)	印刷前にPrint（印刷）ダイアログでドキュメントの向きを横向きに変更します。

問題	注
衝突エネルギー（CE）パラメータの極性が、負のIDA実験の極性で誤って表示される。(ONYX-8566)	CEの正しい値が取得に使用されます。
前述のすべてのステップを順番に完了しなかった場合、ステップ5（衝突エネルギーの最適化）中にエラーが表示される。(ONYX-8568)	**OK**をクリックします。
複数のトランジションの保持時間と滞留時間が同じである場合、(s)MRM Plotsダイアログの滞留時間グラフのツールチップには最後の遷移のみが表示される。(ONYX-8621)	該当なし
スケジュールされたイオン化機能が接点閉鎖で構成されたデバイスで使用される場合、接点閉鎖によって制御されるデバイスがサンプルの注入を開始する前にイオン化が開始される可能性がある。(ONYX-8626)	イオン化開始時間を長くして、接点閉信号を送信し、サンプル注入を開始できるようにします。
異なるバージョンのSCIEX OSでデータを取得した場合、wiff データ ファイルのサンプル情報に表示されるソフトウェア バージョン情報は正しくありません。(ONYX-9522)	あるバージョンのSCIEX OSでデータを取得すると、別のバージョンのSCIEX OSでデータがデータ ファイルに追加されます。wiffデータ ファイルに記録されているソフトウェア バージョンは、Analyst®ソフトウェアのサンプル情報に示されているように、正しくありません。以前のソフトウェア バージョンは、[ファイル情報]セクションに表示されます。
PeakView®ソフトウェアのサンプルのサンプル情報に表示されるサイクル数とサイクル時間は、*Scheduled* MRM^{HR}アルゴリズムで取得されたwiffファイルに対して正しくありません。(ONYX-10623)	該当なし
取得に失敗した場合、wiff ファイルにはデータが含まれていません。(ONYX-11006)	該当なし

問題	注
SCIEX OS 1.6以前のバージョンで作成したバッチをバッチワークスペースで開くと、**Processing Method**および**Results File**列の選択リストが空になります。(ONYX-11275)	SCIEX OSを閉じて、もう一度開きます。選択リストには、現在のプロジェクトの処理方法と結果ファイルが含まれています。
wiffファイル内のサンプルのTOF質量キャリブレーションパラメータがwiff2ファイル内のパラメータと一致しません。(ONYX-11356)	キャリブレーションパラメータは、Analyst® TFソフトウェアとSCIEX OSによって異なる方法で記録されます。wiffファイルは、Analyst® TFソフトウェアモデルに従います。
複雑なスキャン、IDA、SWATH、MRMHRでループ実験を作成すると、実験のスケジュールを指定していないにもかかわらず、ループ実験がスケジュールされた実験として表示されます。(ONYX-11359)	1. メソッドを保存して閉じます。 2. メソッドを開きます。 3. [Advanced]タブで**Experiment scheduling**をクリアします。 ループ実験は予定外として表示されます。
Exclude former candidate ionsの**For**フィールドに整数以外の値を入力できます。(ONYX-11383)	メソッドを保存して再度開くと、整数以外の値は「0」に置き換えられますが、整数以外の値を考慮した上で正しくデータを取得しています。
SCIEX OSは、ネットワーク リソース上のwiffファイルにデータを追加できない場合があります。(ONYX-11437)	ネットワーク リソース上のwiffファイルへのデータの追加は、次の条件下で失敗します。 • wiffファイルには、Analystソフトウェアのデータが含まれています。 • wiffファイルには、破損データが含まれています。 • wiffファイルは読み取り専用です。 • ユーザーにはwiffファイルへの書き込みアクセス権がありません。 • wiffファイルのサイズが2 GBを超えています。

問題	注
新しいイオン参照表のフラグメント情報への変更が保存されない場合があります。(ONYX-11511)	この問題は、既存のテーブルをコピーし、フラグメントイオンを編集して新しいイオン参照表を作成したときに発生します。新しいテーブルを保存すると、フラグメントイオンへの変更が保存されません。フラグメントイオンに変更を適用するには、ユーザーは新しい参照表を再度編集して保存する必要があります。
IDA合計のTOF MSMS TICのグラフは、Explorerのワークスペース（wiff2）とPeakView®ソフトウェア（wiff1）では異なります。(ONYX-11599)	データ、TOF MS TICのグラフ、個々のTOF MSMS TICのグラフ、TOF MSのスペクトル、個々のTOF MSMSのスペクトルは、ExplorerのワークスペースとPeakView®ソフトウェアですべて同一です。

Analyticsワークスペースの問題

問題	注
プロジェクトのルートディレクトリにあるResults Tablesは開かない。	このエラーは、プロジェクトのルートディレクトリがAnalyst®ソフトウェアのルートディレクトリとして使用されている場合に発生します。Analyst®ソフトウェアは、ルートディレクトリのDefault/Project Informationフォルダに次のファイルを1つ以上作成します。 • ProjectSettings.atd • Default Audit Map.cam • Project.atd これらのファイルがProject Informationフォルダに存在する場合は、削除します。
両方の画像要素を含むカスタムテンプレートとクエリを使用してcsvレポートを作成した後は、Results Tableからレポートを作成できない。(BLT-1507)	問題を回避するには、サポートされているテンプレートの1つを使用してください。デフォルトのテンプレートを参照してください。
ターゲットを絞っていないワークフローが使用されている場合、SCIEX OSは処理中に応答を停止する。(BLT-2069)	ターゲットを絞らないワークフローの場合、処理を一度に20サンプルに制限します。
表の表示設定（cset）ファイルをインポートすると、**Component Name**の列が表の右側近くに移動します。(BLT-2564)	**Component Name**列を目的の場所に移動します。

問題	注
（SCIEX 7500 システム）長いファイルパスを持つデータは、Analyst® 1.7.2 ソフトウェアを使用して処理できません。また、Analyst® 1.7.2ソフトウェアでは、このようなデータ ファイルのファイル情報を完全に表示することはできません。(BLT-2246)	この問題を回避するには、SCIEX OSのAnalytics ワークスペースを使用してデータを処理します。
Analyst®ソフトウェアデータでは、LIT スキャンにおいてQ3分解能が最大として報告される。(DS-2220)	Analyst®ソフトウェアのExploreモードでデータを開きます。
csvレポートは、グラフィックやロゴをサポートしていない。(MQ-1361)	csvレポートは、図が含まれない場合のみサポートされます。
プロジェクトのデフォルトページで1つのアルゴリズムのregression settingsを変更すると、他のアルゴリズムの regression settingsが更新される。(MQ-1376)	regression settingsフィールドは、選択したアルゴリズムと無関係ではありません。あるアルゴリズムでregression settingsフィールドを変更すると、他のアルゴリズムの対応するフィールドも変更されます。問題を回避するには、アルゴリズムを切り替える際に、アルゴリズムの必要に応じて regression settingsを更新する必要があります。
名前のないライブラリをインポートするとエラーが発生する。(MQ-1379)	この問題を回避するには、ライブラリをインポートする前に、ライブラリに名前を割り当ててください。
グループに含まれる個々のコンポーネントの予測保持時間（**Update Retention Time**機能が**Group**に設定されている場合）が変更可能で、その結果グループ内の予測保持時間と保持時間ウィンドウが一致しなくなる。(MQ-1511)	**Expected RT**は、グループ内の各コンポーネントについて手動で変更できます。
ライブラリ検索とFormula Finderのスコアが両方ともゼロ、または存在しない場合に、合計スコアがゼロ以外の値になる。(MQ-1545)	ソフトウェアではライブラリ検索とFormula Finder のスコアに加え、質量誤差、アイソトープ、および保持時間のスコアを使用して合計スコアが計算されます。これらのスコアを含めない場合は、それぞれの加重をゼロに設定してください。
ライブラリをデータベースに追加またはデータベースから削除しても、保存したResults Tableが自動的に更新されない。(MQ-1684)	問題の発生を回避するには、更新されたライブラリデータベースに基づいて手動で結果の再処理を行ってください。

問題	注
ライブラリ検索で、低品質のスペクトルから予測よりも高い純度が報告される。（MQ-1679、MQ-1773）	この問題が発生した場合は、保持時間、ピーク品質、および積分を確認し、化合物が陽性か否かを確認してください。
化合物固有の判定基準を参照できない。(MQ-1822)	現在、ライブラリ検索ではグローバル設定のみが参照可能になっています。
LibraryView Package Builderで作成されたライセンス付きパッケージ用のライセンスがC:\Program Files\AB SCIEX\LibraryView\binに保存されている。(MQ-1847)	LibraryView Package Builder 1.0で作成されたライセンス化パッケージ用のライセンスは、手動でC:\Program Files\SCIEX\LibraryView\LibraryViewFramework\Serverにコピーする必要があります。
処理メソッドがAutoPeak統合アルゴリズムを使用している場合、埋め込み処理メソッド内の互換性のないコンポーネントが正しく処理されない。(MQ-1873)	AutoPeak統合アルゴリズムを使用する既存の処理方法を使用して、現在選択されているサンプルを使用してモデルを作成するオプションでデータを処理すると、Results Tableが正しく表示されます。ただし、互換性のないコンポーネントは、埋め込まれているメソッドに赤いエクスクラメーションマークで示されます。この動作を回避するには、互換性のないコンポーネントをメソッドから削除するか、フラグメント質量の保持時間またはExperiment内容を修正します。
Positive Hit template を使用して2 500行を超えるResults Tableから保護されたPDFレポートを作成するためにPDFactoryを使用すると、ソフトウェアが応答しないように見える。(MQ-1896)	レポートの作成には、ある程度時間がかかります。PDFactoryの進行状況ウィンドウは常にバックグラウンドで表示され、PDFの作成が進行中であることを示します。PDFactoryの進行状況ウィンドウを表示させるために、SCIEX OSを含むすべてのウィンドウを最小化できます。
Method Editor でIS名をコンポーネントテーブルに貼り付けることができない。(MQ-2193)	問題を回避するには、IS名を手動で選択するか、IS列を個別に貼り付けます。
ユーザーは、無効な方法でデータを処理し、Results Tableを作成することができる。(MQ-2431)	問題を回避するには、以前のバージョンのSCIEX OSで作成されたメソッドを開かなければなりません。エラーが修正されない場合は、処理時間が影響を受けることもあります。
ソフトウェアで、SCIEX X500 QTOFシステム用のQ1スキャンからのデータの定量的処理や定性的処理ができない。(MQ-2790)	SCIEX X500 QTOFシステムからのQ1データが、Analyticsワークスペースで処理できません。

問題	注
UV、DAD、ADCデータ上でAutoPeak積分アルゴリズムを使用した場合、処理前にモデルが構築するのに長い時間がかかる。(MQ-4421)	ピーク形状が良くないUV/DAD/ADCデータに対しては、AutoPeak積分アルゴリズムを使用しないでください。
Concentration Acceptanceの**Upper Limit**列の値、またはフラグ設定ルールのコンポーネントタイプごとの値テーブルをコピーしようとすると、エラーが発生する。(MQ-5599)	表に値を入力します。
Mass Reconstructionワークフローでは、Results Tableに報告された信号対雑音（S/N）値が、再構成されたピークに対して正しく計算されない。(MQ-7073)	S/Nを計算するには、Explorerワークスペースで平均*m/z*スペクトルを開き、手動で再構成を行い、ターゲットピークのS/Nを計算します。 注： この回避策には Biotool Kit のライセンスが必要です。 1. Peak Review ペインで平均スペクトルを選択します。 2. **Open data exploration**（）をクリックします。 3. **Bio Tool Kit > Reconstruct Protein**をクリックし、分解能値を入力し、再構成パラメータを指定して、再構成を実行します。 4. S/Nを手動で計算します。*ソフトウェアユーザーガイド*の『グラフ選択情報の表示』を参照してください。
処理方法のコンポーネントページのテーブル設定で、**Mass (Da) and Width (ppm)**を表示するように設定した場合にエラーが表示される。(MQ-7709)	SCIEX 7500システムなどの公称質量システムの場合、XIC幅（ppm）はサポートされていません。Use XIC width (Da).
計算列の名前を関数名と同じにすることはできません。(MQ-8087)	関数名と一致しない名前を付けてください。

問題	注
[統計] ペインに表示される**Percent CV**は、**GETSTAT**関数で計算されたパーセント CV とは異なります。(MQ-8211)	**GETSTAT**関数は**Actual Concentration**値を使用して複製を識別しますが、統計ペインはユーザー指定の**Number format**が適用された後に**Actual Concentration**値を使用します。たとえば、**Number format**が 0.00 に設定されている場合、5.001 の濃度は[統計]ペインで 5.00 として扱われます。
ソフトウェアは、**Outlier Reasons**列または**Outlier Reasons**列に基づく計算列に基づくフラグ設定ルールをサポートしていません。(MQ-8295/MQ-8381)	**Outlier Reasons**列を使用するフラグ設定ルールを作成しないでください。
ソフトウェアは、式の列名または値のスペルミスを検査しません。(MQ-8412)	式の列名や値は正確に入力してください。
Results Tableへの変更の結果として生じる複雑な数式を再計算すると、ソフトウェアは進行状況を表示しません。(MQ-8439)	計算の進行中にデータを保存またはエクスポートしようとすると、ソフトウェアはエラーを表示します。計算が完了するまで、保存およびエクスポート機能は許可されません。ただし、計算中にデータを確認することは可能です。
Adduct/Charge列はIFステートメントでは使用できません。(MQ-8515)	この列を IF ステートメントで使用するには、計算列を作成してアダクト/チャージデータを格納し、IF ステートメントで計算列を使用します。
カスタムの式に基づいて列にメトリックプロットを適用した場合、式の入力を変更してもすぐにはMetric Plotに反映されません。(MQ-8524)	メトリックプロットを更新するには、Results Table で別のコンポーネントを選択した後、元のコンポーネントを再度選択します。
複雑なIFステートメントの中でテキスト（数値以外）の比較を行うと、結果が一致しないことがあります。(MQ-8268)	複雑な式の使用は避けてください。中間計算列を作成し、計算結果を保存します。
Acquisition Date & Time列が式で正しく処理されません。(MQ-8662)	式で**Acquisition Date & Time**列を使用しないでください。

問題	注
式のテキスト文字列にセミコロン (;) が含まれている場合、式は正しく処理されません。(MQ-8670)	テキスト文字列にセミコロンを含めないでください。
複数のResults Tableが開いていて、Results Tableに3つ以上の変更が加えられている場合、Results Tableへの変更が適用されないことがあります。(MQ-8696)	次の条件では、Results Tableへの変更が適用されない場合があります。 • 2つのResults Tableが開きます。 • Results Tableに3つの変更が加えられ、計算列が再計算されます。 • 最初の2つの変更は、3番目の変更が行われる前に処理を完了していません。 この問題を回避するには、最初の2つの計算が完了するまで待ってから、3番目の変更を行ってください。最初の2つの計算が完了したことを確認するには、計算の影響を受ける列を検査します。

Explorerワークスペースの問題

問題	注
「要求されたアクションを完了できませんでした。データが完全であり、すべてのフィールドに適切な値が含まれていることを確認してください」というエラーが数式ファインダに表示される。(BLT-1423)	このエラーは、選択されたイオンの構造がFormula Finder で予測されたもので、Formula Finder 設定ダイアログの元素組成タブの正イオンのリストに含まれていない場合に発生します。たとえば、*m/z* 1004のイオンの場合、Formula Finderは（M + NH4）+に一致します。このイオンが検索する陽イオンのリストに含まれていない場合、一致するものが見つからないとエラーが発生します。
取得中にユーザーがデータを検索すると、以下の問題が発生する可能性がある。 • スケジュールされたスキャンのXICおよびBPCが予定時間より前に生成された場合は、リアルタイムデータが取得後のデータと一致しない。(DS-903) • Explorerワークスペースで**Move to next**または**Move to previous**を使用してMS実験を切り替え、リアルタイムで生成された抽出イオンクロマトグラム（XIC）またはベースピーククロマトグラム（BPC）を表示した場合、XIC / BPCペインには1つのポイントのみが表示される。	この問題を回避するには、以下の手順に従います。 • **File > Show XIC**をクリックして、必要な実験のXICを生成します • 取得後のXIC/BPCを生成します。 • XICペインを閉じて再度開きます。
MSおよびDADData Acquisitionパネルと Explorerワークスペースのリアルタイムグラフの不一致は、LCメソッドの持続時間がMS Methodよりも長い場合に発生する。このシナリオでは、UV、DAD、またはADCチャンネルがLCメソッド収集時間の終わりまで Explorer ワークスペースでリアルタイム更新され続けても、MS Method持続時間の終わりにMSおよびDADData Acquisitionパネルの更新が停止する。(DS-852)	この問題が起こり始めた場合は、取得が完了するまで待ってから、データの探索を行ってください。

問題	注
Explorerワークスペースで、Detector Optimizationデータが正しく表示されない。(DS-1044)	Z軸（検出器の電圧）のラベルが不正確になっています。問題を回避するには、Detector Optimization Reportレポートまたは データ収集 パネルを使用して、検出器最適化プロセス中に取得されたデータを検査します。
測定中にランプパラメータが付いた測定メソッドからのデータが表示されると、データが更新されなくなり、結果のスペクトルが正しくなくなる。(DS-1959)	測定が完了するまで、ランプパラメータを含む測定メソッドのデータを表示させないでください。
XICのハイライト表示された領域からスペクトルを生成できない。(ONYX-1882)	以下の操作を行うと、エラーメッセージが表示されます。 1. Explorerワークスペースにある別のペインで2つのファイルを開いて、各ファイルのXICグラフを生成する。 2. 単一ペインでXICグラフを結合する。 3. XICペインで領域をハイライトし、ダブルクリックしてスペクトルを生成する。 4. Process All Overlays? ダイアログが表示されたら、**All Overlaid**をクリックしてから、**OK**をクリックする。 スペクトルの代わりに、「Incorrect Argument - invalid cycle range」というエラーメッセージが表示される。 問題を回避するには、グラフが重なっているより狭い領域を選択します。
Explorerワークスペースで大量のデータまたは複数のデータファイルを処理すると、ユーザーフェイスが応答を停止し、サンプルキューが次のサンプルに移動するまでに遅延が生じることがある。(ONYX-2047)	この問題が発生した場合は、Explorerワークスペースで処理が完了するのを待つか、データ収集中に大量のデータを処理しないようにします。
Bio Tool Kitを使用したインタクトプロテインデータファイルの再構成グラフでは、ステップサイズが1Da以下の場合、電荷状態は0ではありません。(ONYX-11471)	Explorerワークスペースで、**Edit > Options**を選択し、**Peak Labeling & Finding**タブをクリックします。**Label field**の場合は、**Mass / Charge**を選択します。

問題	注
Explorerワークスペースで、XICトレースの番号ラベルがまぎらわしい。(PV-1009)	表示されている値は、ピークのセントロイドを表すため、正確です。**Fill Peaks**をクリックすると、ピークがよく見えるようになります。ピークラベルは、対象となるピークの位置に関わらずその最高点に配置されるため、ラベルの位置が不正確なように見える場合がありますが、値は正確です。 この問題が起こる場合は、取得が完了するまで待ってから、データの探索を行ってください。
Scheduled MRM™データファイルを開き、サンプルを選択してロードした後、**Show Sample Information**をクリックすると、IDA実験のサンプル情報が表示されません。(PV-1330)	この問題は、ワークフローに影響を及ぼしません

MS Tuneワークスペース問題

問題	注
マニュアルチューニング中、**Save Settings**をクリックしても最適化されたパラメータ値が装置定義ファイルに保存されない。(ACQ-2519)	マニュアルチューニング中は、最適化されたパラメータ値が保存されません。問題を回避するには、マニュアルチューニングモードでチューニング手順をすべて完了します。
Q1の中心質量を選択しても、リアルタイムスペクトルの質量範囲が正しく更新されない。(DS-915)	この問題を回避するには、開始および停止質量を、Q1センター質量の範囲をカバーするように設定します。
MSチューニング中、**Copy Settings**ボタンで設定をコピーした後、取得を一時停止します。(ONYX-5539)	取得を再開するには、次の手順に従います。 1. **Stop**をクリックしてメソッドを停止します。 2. **Start**をクリックしてメソッドを再起動します。 3. いずれかの質量のオフセットを調整してから復元することにより、設定を更新します。

問題	注
MS Tuneワークスペースでキャリブレーションが完了してから約5分以内に質量分析計の電源を切ると、キャリブレーション設定は失われ、以前に保存されたキャリブレーション設定が復元されます。(MSCS-2627)	チューニング手順を再度実行してください。
チャンネルアラインメント中にチューニング手順が停止すると、質量分析計はFault状態になり、SCIEX OSと質量分析計間の通信が失敗します。(ONYX-11760)	質量分析計をシャットダウンしてから再起動し、**ClearCore2**サービスを停止してから開始します。

レポーターの問題

問題	注
ユーザーがレポートテンプレートを編集しようとすると、Microsoft Officeドキュメントのカスタマイズエラーが発生する。	このエラーは、TemplateContentControlManagerがインストールされていないために発生します。次の手順を実行します。 1. C:/Program Files/AB Sciex/ReporterOfficeAddins/TemplateContentControlManagerに移動します。 2. **TemplateContentControlManager.vsto**をダブルクリックします。 3. TemplateContentControlManagerがインストールされている場合は、**Close**をクリックします。それ以外の場合は、**Install**をクリックして、画面の指示に従います。

ソフトウェアのインストールや有効化における問題

問題	注
不正確なユーザーアカウントが使用されている場合、SCIEX OSをインストールできない。(BLT-340)	sciex.com/request-supportに問い合わせます。ソフトウェアのインストールや削除は、必ず管理者が実行する必要があります。
Installation Wizardの複数のインスタンスが開いている場合、SCIEX OSをインストールできない。(BLT-341)	SCIEX OSのインストールウィザードを2つ開いて、2番目のインストールを続行しようとすると（1つ目を閉じたかどうかに関わらず）、インストールが失敗する。この問題を回避するには、必ずInstallation Wizardを1つだけ開いて、インストールを続行してください。
ChemSpiderのライセンスが失効した後、新しいライセンスをインストールしてChemSpiderセッションを開始しようとすると、ChemSpiderのライセンスがないという警告メッセージが表示される。(BLT-985)	SCIEX OSを閉じてから再度開き、それからChemSpiderを再開します。
ソフトウェアがバージョン2.0からバージョン1.3にダウングレードされると、Batch、QueueおよびUserワークスペースは無くなる。(OFX-489)	SCIEX OS 1.3インストールのバックアップがない場合、 1. SCIEX OS 2.0を削除します。 2. LibraryView™ Frameworkを削除します。 3. C:\Program Data\SCIEX\フォルダの名前を変更します。 4. C:\Program Files\SCIEX\フォルダの名前を変更します。 5. D:\SCIEX OS Data\フォルダの名前を変更します。 6. SCIEX OS 1.3をインストールします。 SCIEX OSの再設定と、全メソッド、設定、ユーザーなどの再作成が必要です。

問題	注
Setup.exeを使ってSCIEX OS 1.3以降を削除しようとしてもできない。(ONYX-2124)	Setup.exeを使ってSCIEX OS 1.3以降を削除しようとすると、Windowsのプログラムと機能からSCIEX OSのエントリが削除されます。ただし、プログラムは残っているため、開くことができます。SCIEX OSを削除するには、SCIEX OSフォルダからSetup.exeを実行して、画面上の指示に従ってソフトウェアをインストールします。このプロセスによりSCIEX OSのエントリが、Windowsのプログラムと機能のリストに戻ります。プログラムと機能のリストを使って、SCIEX OS 1.3以降を削除します。
SQLサーバーの問題またはLibraryView™Frameworkの問題が原因で、SCIEX OSがインストールに失敗する場合がある。(ONYX-2987)	この問題が発生した場合は、 1. LibraryView™ソフトウェアがインストールされている場合は削除します。 2. LibraryView™Frameworkがインストールされている場合は削除します。 3. Microsoft SQL Server 2008の全コンポーネントを削除します。 4. コンピュータをシャットダウンしてから再起動します。 5. SCIEX OSをインストールします。 インストールの問題が解決しない場合は、C:\Program Files\Microsoft SQL Servier\MSSQL10_50.SQLEXPRESS \MSSQL\DATA folderからLibraryView.mdfおよびLibraryView_log.mdfファイルを削除する必要がある場合があります。 注： ライブラリはmdfファイルに保存されているため、これらのファイルを削除すると既存のライブラリも削除されるため、再インストールが必要となります。
.NET Framework 4.x (ONYX-8028) がインストールされていないコンピュータにSCIEX OSをインストールすると、エラーが表示される。	この問題が発生した場合は、インストールパッケージにあるInstall/NDP472-KB4054530-x86-x64-AllOS-ENU.exeを使用してインストールしてください。

MS FW Updaterに関する問題

問題	説明
MS FW UpdaterユーティリティがDVDから実行できない。(BLT-597)	質量分析装置のファームウェアを更新するには、FirmwareUpdaterフォルダをD:\ドライブにコピーし、その場所からユーティリティを実行します。

デフォルトのテンプレート

Template（テンプレート）	テンプレートの説明（レポートの作成ダイアログに表示）	その他の注意事項
All Peaks Qual（すべてのピーク品質）	各サンプルについて、ファイル情報、サンプル情報、分析試料Results Table、および全分析試料と内部標準が重なったクロマトログラムで構成されたセクションが表示されます。分析試料Results Tableは、Results Tableで表示されているように印刷されます。定性分析の信頼信号灯は、すべて表の先頭に示されます。	該当なし
Analyte 20 percent Report（20パーセントのレポートを分析）	各分析試料について、ファイル情報、および各ブランク、標準、QCとすべての不明サンプルの20%に関するXIC表のあるセクションを示すレポート。	これは、クエリ（Analyte20percent.Query）が添付されたレポートテンプレートの例です。
Analyte Summary（分析試料概要）	特定の分析対象物および関連する内部標準のバッチ内のすべてのサンプルのサンプル名、計算された濃度、および外れ値を示す結果の表。	該当なし

Template（テンプレート）	テンプレートの説明（レポートの作成ダイアログに表示）	その他の注意事項
Calibration Curve（キャリブレーションカーブ）	分析試料のファイル情報、統計表（標準）、分析試料のキャリブレーションカーブを1ページずつ表示したレポート。	• [報告可能]チェックボックスがオフになっている標準は、データテーブルに報告されません。統計は、報告可能ステータスの影響を受けません。 • レポートには、**Used**列のステータスに基づいて、Analyticsワークスペースの[キャリブレーションカーブ]ペインに表示および計算された回帰方程式とグラフが表示されます。
インタクト定量すべてのピークとグラフ	各サンプルのResults Tableエントリを示すレポート。Results Tableに表示されているすべてのカラムがレポートに表示されています。レポートには、各サンプルと分析試料についてのXICクロマトグラフ、平均スペクトル、再構成スペクトルも含まれています。	このレポートは、Mass Reconstructionワークフローに固有のものです。
インタクト定量分析試料の概要とキャリブレーションカーブ	各分析試料のResults Table項目、キャリブレーションカーブ、統計データを表示したレポートです。Results Tableには、サンプル名、サンプルタイプ、分析対象物名、実際の濃度、面積、高さ、予測されるMW、MW、MWデルタ、計算された濃度、および精度が含まれます。	このレポートは、Mass Reconstructionワークフローに固有のものです。
インタクト定量サンプルの概要	すべてのサンプルのResults Tableエントリを示すレポート。Results Tableには、サンプル名、サンプルタイプ、分析対象物名、実際の濃度、面積、高さ、予測されるMW、MW、MWデルタ、計算された濃度、精度、および精度判断が含まれます。	このレポートは、Mass Reconstructionワークフローに固有のものです。

Template（テンプレート）	テンプレートの説明（レポートの作成ダイアログに表示）	その他の注意事項
Metric Plot（メトリックプロット）	各分析試料について、ファイル情報と分析試料のピーク面積のメトリックプロットで構成されたセクションが表示される安定したレポートです。	**Reportable**チェックボックスの状態は、レポートの内容には影響しません。チェックボックスがオフの場合でも、すべてのデータポイントが含まれます。
MQ Analyte Report 1（MQ分析試料レポート1）	各分析試料について、ファイル情報、サンプルResults Table、および各サンプルのXIC表を含むセクションを表示するレポートは、8サンプル未満の分析試料については、通常、1分析試料につき2ページを印刷します。	該当なし
MQ Analyte Report 2（MQ分析試料レポート1）	各分析試料について、ファイル情報、および各サンプルのXIC表を含むセクションを表示するレポートは、8サンプル未満の分析試料については、通常、1分析試料につき2ページを印刷します。	不明なものだけが報告されます。
MQ Analyte Report 3（MQ分析試料レポート1）	各分析試料について、ファイル情報および不明のサンプル概要表のあるセクションを示すレポート。	不明なものだけが報告されます。
MQ_Analyte Report condensed table（MQ分析試料レポート要約表）	不明の各サンプルについて、ファイル情報、サンプル情報、および結果概要表のあるセクションを示すレポート。この表は、ページあたりのサンプル数を増やすために2列で示されています。	不明なものだけが報告されます。
MQ Analyte Report with chromatograms（クロマトグラムのMQ分析試料レポート）	各分析試料について、各サンプルのファイル情報、サンプルResults Table、および小さいクロマトグラムのあるセクションを示すレポート。	不明なものだけが報告されます。
MQ Blank Template（MQブランクテンプレート）	該当なし	レポートには、ヘッダー情報、ロゴ、およびページ番号のみが表示されます

Template（テンプレート）	テンプレートの説明（レポートの作成ダイアログに表示）	その他の注意事項
MQ Pep Quant	該当なし	Peptide Quantitationデータセットで使用します。MultiQuant™ソフトウェアの*ユーザーガイド*の2番目の例である絶対定量の例を参照してください。
MQ QC Summary 1 with flags（フラグ付きのMQ QCサマリー1）	ファイル情報、分析試料あたりのQC概要表（20%よりも高いCVのある値がハイライトされます）、およびQC詳細Results Table（80～120%精度を外れる値がハイライトされます）を示すレポート。	**Reportable**チェックボックスをオフにされている品質管理は、レポートには含まれず、計算にも使用されません。
MQ Sample Report 1（MQサンプルレポート1）	各サンプルについて、ファイル情報、サンプル情報、IS情報、分析試料Results Table、ISおよび各分析試料を含むXIC表のあるセクションを示すレポート。通常、8サンプル未満の場合はサンプルごとに2ページを印刷します。	該当なし
MQ Sample Report 2（MQサンプルレポート2）	不明なサンプルごとに、ファイル情報、TIC、サンプルの詳細、分析試料XIC、および結果を表形式で含むセクションを示すレポート。8サンプル未満のサンプルでは、1サンプルにつき通常2ページの印刷となります。	不明なものだけが報告されます。
MQ Sample Report 3（MQサンプルレポート3）	不明の各サンプルについて、ファイル情報、サンプル情報、および結果概要表のあるセクションを示すレポート。	不明なものだけが報告されます。
MQ Sample Report condensed table（MQサンプルレポート要約表）	不明の各サンプルについて、ファイル情報、サンプル情報、および結果概要表のあるセクションを示すレポート。この表は、ページあたりの分析試料を増やすために2列で示されています。	不明なものだけが報告されます。

Template（テンプレート）	テンプレートの説明（レポートの作成ダイアログに表示）	その他の注意事項
MQ Sample Report with chromatograms（クロマトグラムのMQサンプルレポート）	各サンプルについて、各分析試料のファイル情報、サンプル情報、分析試料Results Table、および小さいクロマトグラムのあるセクションを示すレポート。	不明なものだけが報告されます。

Template（テンプレート）	テンプレートの説明（レポートの作成ダイアログに表示）	その他の注意事項
MQ Sample Report with Concentration Threshold（濃度しきい値付きMQサンプルレポート）	不明の各サンプルについて、ファイル情報、サンプル情報、および結果の合計のあるセクションを示すレポート。	• 関連するクエリファイルは、Sample Report with Concentration Threshold.queryです。 • コンポーネントには「Cmpd *X* #」という名前を付ける必要があります。ここで、*X*はAからFまでの任意の文字で、#は任意の数値です。 例：レポートでは、「Cmpd A 1」という名前のコンポーネントが見出し**Compound Group A**の下に表示されます。「Cmpd B 1」という名前のコンポーネントは、**Compound Group B**の下に表示されます。 • コンポーネントが同じグループにある場合、グループ内のアルファベット順の最初のコンポーネントのみがレポートに含まれます。 例**1**：「Cmpd B 25」と「Cmpd C 1」の両方がグループ「Grp」に属している場合、「Cmpd C 1」はレポートに含まれません。 例**2**：「Cmpd A 1」、「Cmpd A 2」、および「Cmpd A 3」がグループに割り当てられていない場合、「Cmpd A 2」および「Cmpd A 3」はレポートに含まれません。 例**3**：「Cmpd A 1」、「Cmpd A 2」、および「Cmpd A 3」がそれぞれグループ1、2、および3に割り当てられている場合、3つのコンポーネントすべてがレポートの見出し**Compound Group A**の下に表示されます。

Template（テンプレート）	テンプレートの説明（レポートの作成ダイアログに表示）	その他の注意事項
MQ Sample Report with MRM ratios 2（MRM比率のMQサンプルレポート2）	不明の各サンプルについて、ファイル情報、サンプル情報、結果概要表を含むセクション、およびすべてのXICのオーバーレイを示すレポート。予測イオン比は、利用可能なすべての標準を使って自動的に算出されます。比率の値はResults Table内のカスタム列に置かれています。予測の20%を外れる値はいずれもフラグが立てられます。クオンティファイアの分析試料名は、ブランクスペースの後に数字の1で終わる必要があります。比率を表すイオン分析試料名は、ブランクスペースの後に数字の2～9で終わる必要があります。	該当なし
MQ Sample Report with MRM ratios EU（MRM比率付きMQサンプルレポートEU）	不明の各サンプルについて、ファイル情報、サンプル情報、および結果概要表のあるセクションを示すレポート。予測イオン比は、利用可能なすべての標準を使って自動的に算出されます。比率の値はResults Table内のカスタム列に置かれています。予測を外れる値はいずれもフラグが立てられます（比率許容範囲に関するEUガイドラインを使用）。クオンティファイアの分析試料名は、ブランクスペースの後に数字の1で終わる必要があります。比率を表すイオン分析試料名は、ブランクスペースの後に数字の2～9で終わる必要があります。	関連するクエリファイルは、MRM ratios EU.queryです。

Template（テンプレート）	テンプレートの説明（レポートの作成ダイアログに表示）	その他の注意事項
MQ Sample Report with MRM ratios（MRM比率付きサンプルレポート）MQ EFAB 03	不明の各サンプルについて、ファイル情報、サンプル情報、および結果概要表のあるセクションを示すレポート。予測イオン比は、利用可能なすべての標準を使って自動的に算出されます。比率の値はResults Table内のカスタム列に置かれています。予測の20%を外れる値はいずれもフラグが立てられます。クオンティファイアの分析試料名は、ブランクスペースの後に数字の1で終わる必要があります。比率を表すイオン分析試料名は、ブランクスペースの後に数字の2～9で終わる必要があります。	該当なし
MQ Sample Report with MRM ratios（MRM比率付きMQサンプルレポート）	不明の各サンプルについて、ファイル情報、サンプル情報、および結果概要表のあるセクションを示すレポート。予測イオン比は、利用可能なすべての標準を使って自動的に算出されます。比率の値はResults Table内のカスタム列に置かれています。予測の20%を外れる値はいずれもフラグが立てられます。クオンティファイアの分析試料名は、ブランクスペースの後に数字の1で終わる必要があります。比率を表すイオン分析試料名は、ブランクスペースの後に数字の2～9で終わる必要があります。	関連するクエリファイルは、MRM ratios.queryです。

Template（テンプレート）	テンプレートの説明（レポートの作成ダイアログに表示）	その他の注意事項
MQ Sample Report with standards, QC, and blanks（標準、QC、およびブランクを含むMQサンプルレポート）	サンプルごとに、ファイル情報、標準サマリーテーブル、QCサマリーテーブル、ブランクResults Tableを含むセクションを示すレポート。次に、不明のサンプルごとに、ファイル情報、サンプル情報、IS情報、分析試料Results Table、ISおよび各分析試料を含むXICテーブルを含むセクション。通常、8サンプル未満の場合はサンプルごとに2ページを印刷します。	**Reportable**チェックボックスがオフになっている標準および品質管理は、レポートのそれぞれの要約表に表示されず、統計計算にも使用されません。
MQ Tutorial Dataset Heavy Light（MQチュートリアルデータセットヘビーライト）	該当なし	このレポートは、Tutorial Dataset Heavy Lightデータセットでの使用を目的としています。MultiQuant™ソフトウェアの*ユーザーガイド*の2番目の例である相対定量の例を参照してください。
Per Sample Quant-Qual	選択した各サンプルについて、ファイル情報、サンプル情報、および選択した分析試料の分析試料Results Tableで構成されたセクションを表示するレポートです。分析試料Results Tableは、Results Tableで表示されているように印刷されます。定性分析の信頼信号灯は、すべて表の先頭に示されます。	該当なし
Per Sample Quant-Qual Visible Rows Using Visible Analyte	選択した各サンプルについて、ファイル情報、サンプル情報、および選択した分析試料の分析試料Results Tableで構成されたセクションを表示するレポートです。分析試料Results Tableは、Results Tableで表示されているように印刷されます。定性分析の信頼信号灯は、すべて表の先頭に示されます。	行の非表示状態は、**Reportable**チェックボックスの状態よりも優先されます。**Reportable**チェックボックスが選択されているが、行が非表示になっている場合、その行は報告されません。

Template（テンプレート）	テンプレートの説明（レポートの作成ダイアログに表示）	その他の注意事項
Per sample Quant-Qual with statistics（サンプルごとの統計量を持つ Quant-Qual）	WYSIWYGテーブルを使用して各サンプルのコンポーネントを示すレポート。XIC、MS、およびMS/MSが表示されます。エリアの統計要約表は、レポートの最後に表示されます。	• コンポーネントテーブルにUVコンポーネントがある場合、UVトレースはレポートのXICグラフの下に報告されます。 注： UV コンポーネントの名前が [compound_nameuv] または [uv] の形式である場合、UV サフィックスは UV MS Qual レポートに関連付けられているため、UV トレースはレポートされません。 • サンプルにQCのラベルが付いていて、サンプルが2つ以上ある場合、平均、STDEV、および%CVが計算され、レポートの最後にあるQC要約表に含まれます。 • QC行の**Reportable**チェックボックスがオフになっている場合、その行はQCサマリーテーブルの計算に使用されません。
Per Analyte Quant-Qual	各分析試料について、ファイル情報、Results Table、キャリブレーションカーブ、および内部標準と各分析試料のクロマトグラムで構成されたセクションが表示されます。このテンプレートは、グループが定義されたResults Tableに適しています。	該当なし

Template（テンプレート）	テンプレートの説明（レポートの作成ダイアログに表示）	その他の注意事項
Positive Hits Qual	選択した各サンプルについて、ファイル情報、サンプル情報、選択した分析試料の分析試料Results Table、すべての分析試料、内部標準、XICが重なったクロマトログラム、取得/理論的MSスペクトル、選択した各分析試料の取得/ライブラリMS/MSスペクトルで構成されたセクションが表示されます。分析試料Results Tableは、Results Tableで表示されているように印刷されます。定性分析の信頼信号灯は、すべて表の先頭に示されます。	該当なし
Qual CSV Report	各サンプルについて、ファイル情報、サンプル情報、および分析試料Results Tableで構成されたセクションを表示する.acsvフォーマットのレポートです。	レポート形式にはCSVオプションを使用することをお勧めします。

Template（テンプレート）	テンプレートの説明（レポートの作成ダイアログに表示）	その他の注意事項
サンプルの概要	各サンプルについて、分析試料の要約表のセクションを示すレポート。このレポートテンプレートは、グループが定義されたResults Tableに適しています。	該当なし
UV MS Qual report（UV MS Qualレポート）	各サンプルについて、そのサンプルのコンポーネントとそれに対応するUVコンポーネントをWYSIWYGテーブルで示すレポートXIC、MS、およびMS/MSがUVデータとともに表示されますエリアの統計要約表は、レポートの最後に表示されます。	• UVMSデータは、命名規則に従って処理されます。 化合物1 (任意の文字列)を質量分析計(MS)コンポーネントに、そして 化合物1uv（任意の文字列＋uv）は対応するUV成分を表します。 • 質量誤差、フラグメント質量誤差、RT信頼度、アイソトープ信頼度、およびライブラリ信頼度の信号のみが表示されます。 • グラフテーブルが作成され、XIC、MS1トレース、MS/MSトレース、化合物1のヘッダー情報、および化合物1uvのUVトレースなど、Results Tableの個々のコンポーネントが表示されます。図 1を参照してください。 • 分析試料のグラフは、MS実験に対してのみ繰り返され、UV実験では繰り返されません。 • サンプルにQCのラベルが付いていて、サンプルが2つ以上ある場合、平均、STDEV、および%CVが計算され、レポートの最後にあるQC要約表に含まれます。図 1を参照してください。 • QC行の**Reportable**チェックボックスがオフになっている場合、その行はQCサマリーテーブルの計算に使用されません。

図 1 グラフテーブル

Analyte Name: 1 (Mass/FragMass/RT/Isotope/Library)

Retention Time	4.13	Isotope Ratio Difference	5.1
Expected RT	4.12	Library Result	No Match
Precursor m/z	433.879	Library Score(%)	0.0

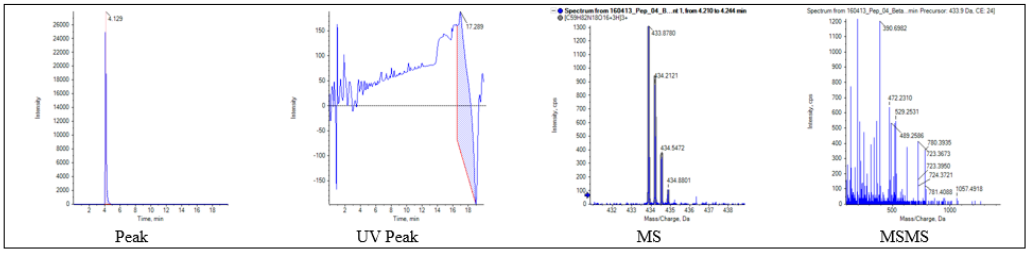

図 2 統計表

Statistics (Grouped by Concentration for QCs - Area)

Analyte Peak Name (MRM Transition)	Mean	Std. Deviation	% CV	Number of Values Used
1 (723.3573 - 723.3773)	1.062e4	7.367e2	6.93	2 of 2
2 (753.3091 - 753.3291)	2.215e4	6.858e2	3.10	2 of 2
3 (760.3353 - 760.3553)	9.332e3	1.955e1	0.21	2 of 2
4 (631.3450 - 631.3650)	3.244e4	1.110e3	3.42	2 of 2
5 (636.3373 - 636.3573)	1.144e5	3.962e2	0.35	2 of 2
6 (871.4354 - 871.4554)	6.479e4	1.198e3	1.85	2 of 2
7 (932.4493 - 932.4693)	2.183e4	7.301e2	3.34	2 of 2
8 (1000.5743 - 1000.5943)	2.553e4	5.007e2	1.96	2 of 2
9 (755.4352 - 755.4552)	1.127e5	8.422e3	7.48	2 of 2
10 (1184.5929 - 1184.6129)	3.576e4	7.231e2	2.02	2 of 2
11 (884.4871 - 884.5071)	5.183e4	1.512e3	2.92	2 of 2
12 (1176.5468 - 1176.5668)	1.670e4	1.848e2	1.11	2 of 2
13 (871.9418 - 871.9618)	1.597e5	5.501e2	0.34	2 of 2
14 (879.4236 - 879.4436)	1.868e5	5.182e3	2.77	2 of 2

お問い合わせ先

お客様のトレーニング

- 北米：NA.CustomerTraining@sciex.com
- ヨーロッパ：Europe.CustomerTraining@sciex.com
- ヨーロッパおよび北米以外：sciex.com/education

オンライン学習センター

- SCIEX University™

SCIEXサポート

SCIEX およびその代理店は、十分に訓練を受けた保守／技術専門要員を世界中に有しています。システムまたは起こり得る技術的問題に関するご質問にお答えします。詳細な情報については、SCIEX ウェブサイト (sciex.com) を参照するか、以下の連絡先までお問い合わせください。

- sciex.com/contact-us
- sciex.com/request-support

サイバーセキュリティ

SCIEX製品のサイバーセキュリティに関する最新のガイダンスについては、sciex.com/productsecurityを参照してください。

ドキュメント

このバージョンのドキュメントは、以前のすべてのバージョンのドキュメントに優先します。

このドキュメントを電子的に閲覧するにはAdobe Acrobat Readerが必要です。最新バージョンをダウンロードするには、https://get.adobe.com/readerにアクセスします。

ソフトウェア製品のドキュメントについては、ソフトウェアに付属のリリースノートまたはソフトウェアインストールガイドを参照してください。

ハードウェア製品のドキュメントを検索するには、システムまたはコンポーネントに付属の*カスタマーリファレンス* DVD を参照してください。

ドキュメントの最新版はSCIEXのwebサイト（sciex.com/customer-documents）で入手できます。

注： このドキュメントの無料の印刷版を請求するには、sciex.com/contact-usまでお問い合わせください。

本書はSCIEX機器をご購入され、実際に使用されるお客様にむけてのものです。本書の著作権は保護されています。本書および本書の一部分を複製することは、SCIEXが書面で合意した場合を除いて固く禁止されています。

本書に記載されているソフトウェアは、使用許諾契約書に基づいて提供されています。使用許諾契約書で特に許可されている場合を除き、いかなる媒体でもソフトウェアを複製、変更、または配布することは法律で禁止されています。さらに、使用許諾契約書では、ソフトウェアを逆アセンブル、リバースエンジニアリング、または逆コンパイルすることをいかなる目的でも禁止することがあります。正当とする根拠は文書中に規定されているとおりです。

本書の一部は、他の製造業者および/またはその製品を参照することがあります。これらには、その名称を商標として登録しているおよび/またはそれぞれの所有者の商標として機能している部分を含む場合があります。そのような使用は、機器への組み込みのためSCIEXにより供給された製造業者の製品を指定することのみを目的としており、その権利および/またはライセンスの使用を含む、または第三者に対しこれらの製造業者名および/または製品名の商標利用を許可するものではありません。

SCIEXの保証は販売またはライセンス供与の時点で提供される明示的保証に限定されており、またSCIEXの唯一かつ独占的な表明、保証および義務とされています。SCIEXは、明示的・黙示的を問わず、制定法若しくは別の法律、または取引の過程または商慣習から生じるかどうかに関わらず、特定の目的のための市場性または適合性の保証を含むがこれらに限定されない、他のいかなる種類の保証も行いません。これらのすべては明示的に放棄されており、購買者による使用またはそれから生じる不測の事態に起因する間接的・派生的損害を含め、一切の責任または偶発債務を負わないものとします。

研究専用。診断手順には使用しないでください。

ここに記載されている商標および / または登録商標は、関連するロゴを含め、米国および / またはその他の特定の国における AB Sciex Pte. Ltd.、またはその該当する所有者の所有物です。

AB SCIEX™ はライセンスの下で使用されています。

© 2021 DH Tech. Dev. Pte. Ltd.

AB Sciex Pte. Ltd.
Blk33, #04-06 Marsiling Industrial Estate Road 3
Woodlands Central Industrial Estate, Singapore 739256